

平成23年度

事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

財団法人三重北勢地域地場産業振興センター

1. センター運営管理業務

- 地場産業の活動拠点として、施設の効果的な運営と維持管理に努めた。
- 自主財源確保のため、販売手数料収入や施設使用料収入の増収に努めた。
 - ・名品館の運營業務については、じばさん市、感謝フェア、グランドセール等の開催や商品の品揃えの充実を図り、展示会への積極的な出展等により、販路促進、集客に努めた。また、東日本大震災の被災地、八戸、盛岡、いわき、西会津、南会津の商品を販売し、支援を行った。
売上総額は 66,984,473 円で前年度比 102.2% (65,547,986 円) となった。
 - ・施設提供事業については、昨年度に引続き、四日市税務署の「確定申告会場」の利用もあり、施設使用料収入は 53,503,393 円で前年度比 103.8% (51,559,703 円) となった。
- 平成 14 年度から設置しているインキュベートルーム 7 室の維持管理に努めた。
- 軽食堂業務は、フォークローバー(株)に委託し施設利用者に飲食物を提供した。

2. 総合振興事業の実施

地場産業振興事業（地場製品の PR、人材養成、情報収集提供、相談指導）、施設提供事業及びビジネスインキュベータを活用した新規産業創出事業に取り組んだ。

I 地場産業振興事業

1 地場製品 PR 事業

名品館の販売や展示会の開催、参加を通して地場製品の PR、販路拡大に努めた。

(1) 展示会の開催及び出展

三重県北勢地域の地場産品を広く PR し販路拡大を図るため、名古屋及び東京において展示・販売を行った。（名古屋金山総合駅は 3 回から 4 回とした。東京は大山商店街、日本橋、新宿西口、都庁、東京ドームと 5 回出展した。）

<名古屋>

① 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘11 (part 1) 新茶まつり

～伊勢の銘茶（新茶）を萬古で飲む～

会 期 平成 23 年 5 月 6 日（金）、7 日（土）

会 場 金山総合駅イベント広場 : 13 回目

来場者数 10,000 人

出展者数 24 ブース (1,800×900)

売上額 2,087,285 円 (前年度比 118.5% 1,760,985 円)

② 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘11 (part 2) 手延めんまつり (新規)

会 期 平成 23 年 6 月 29 日（水）、30 日（木）

会 場 金山総合駅イベント広場 : 14 回目

来場者数 8,000 人

出展者数 24 ブース (1,800×900)

売上額 1, 2 6 3, 1 6 1 円

大矢知手延素麺、冷麦の PR イベントとしてはじめて開催した。

名古屋は素麺より冷麦の需要が多いことがわかったが、6月末での猛暑で、売上は思うほど伸びなかった。

③三重県北勢地域の地場産品フェア ‘11 (part3) 土鍋&菓子まつり

会 期 平成23年10月4日(火)、5日(水)

会 場 金山総合駅イベント広場 : 15 回目

来場者数 10, 000 人

出展者数 24 ブース (1,800×900)

売上額 1, 9 2 6, 0 0 0 円 (前年度比 85.7% 2,246,510 円)

昨年のように11月に会場を押さえることができなかったことが、売上につながらなかった。

④ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘12 (part4) 新酒まつり

会 期 平成24年3月1日(木)、2日(金)

会 場 金山総合駅イベント広場 : 16 回目

来場者数 10, 000 人

出展者数 24 ブース (1,800×900)

売上額 2, 0 7 0, 4 7 5 円 (前年度比 100.2% 2,067,370 円)

昨年に引続き、丸彦酒造、宮崎本店、早川酒造部(川越)の3軒の蔵元が参加、初日は暖かく順調に販売・PR できた。

四日市商工会議所と連携して実施した金山総合駅の①、②、③、④の売上合計額は7, 3 4 6, 9 2 1 円となった。

<東 京>

① 「魅力産品フェア四日市」へ出展

会 期 平成23年9月29日(木)、30日(金)

会 場 板橋区 ハッピーロード大山商店街

出展者数 2 ブース

売上額 1 2 2, 0 1 0 円 (前年度比 141.9% 代々木公園売上 85,995 円)

売上は、昨年の代々木公園よりは上回ったが、単価が低いものしか売れず、また、商店街の店と重なるものが多く苦戦した。

② 「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成23年10月12日(水)～14日(金)

会 場 日本橋イベントコーナー

出展者数 1 テント

売上額 2 0 0, 1 6 0 円

以前も出展したことがあり、販売は昼前後に限られるが、比較的来客も多く、短時間ではあるが、十分な PR ができた。

③三重県北勢地域の 地場産品フェア ‘11

会 期 平成23年10月24日(月)～26日(水)

会 場 新宿西口イベント広場(正面A1コーナー)

来場者数 20,000人

出展者数 28ブース(1,500×900)

売 上 額 2,321,790円(前年度比186%増1,248,160円) 新宿西口

今年度も四日市商工会議所と連携し、PRを実施した。

通路に面した場所に変更したことで、売上は飛躍的に伸びた。



④「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成23年11月9日(水)～15日(火)

会 場 東京都庁 全国観光PRコーナー

出展者数 5ブース

売 上 額 821,000円



都庁 全国観光PRコーナー

昨年の代々木公園と同様、四日市市東京事務所からの依頼で、3箇所のイベントに参加、それぞれの会場で四日市市の地場産品のPR事業を展開した。特に都庁は期間が長く、追加する商品が続出するほど、好評であった。

⑤ ふるさと祭り東京

会 期 平成24年1月7日(土)～15日(日)9日間

会 場 東京ドーム

来場者数 383,584人

出展者数 2ブース(2,330×3,920×2ブース)

売 上 額 1,103,840円(前年度比153.4% 719,630円)

四日市市・ばんこの里会館と連携したことで、十分なPRができた。

泗水の里と伊勢茶ペットボトルが好評で合計4600本を販売し、売上を伸ばすことができた。そのほか、めざましテレビ「ピンコレ」グランプリの「あおさのりと原木椎茸の宝物」を出展し、PRに努めた。

<その他>

①デザインプラザHOFU じばさんフェア ‘11「全国うまいもの市」(商品のみ出展)

会 期 平成23年11月12日(土)、13日(日)

会 場 (財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター及び隣接駐車場

売 上 額 51,080円(前年度比80.9%)

(2) 名品館の運営

地域の地場産品について、商品の品揃えの充実やリピーターの確保を図り、積極的な商品紹介を行い、イベントの開催を通じて、地域内外に向けて幅広くPRを行った。

昨年に引き続き、四日市税務署の「確定申告会場」になったことで、今まで来館

したことのない人も多くなり、売上の増につなげることができた。

また、昨年の震災以降（4月から）復興支援の販売を盛岡、八戸、いわき、西会津、南会津に対して実施し、被災地支援を行った。現在も継続している。

年間売上は 66,984,473 円で前年度を約 144 万円ほどアップすることができた。

17年度 40,646,474 円 → 18年度 53,017,397 円 → 19年度 56,385,533 円
20年度 63,863,700 円 → 21年度 64,456,757 円 → 22年度 65,547,986 円

① じばさん市の開催（8回）

平成 23 年 5 月 4 日（水・祝）、5 日（木・祝）「新茶フェア」

6 月 27 日（月）～7 月 3 日（日） 「手延めんフェア」

7 月 29 日（金） 「夏の菓子フェア」四日市菓子組合

10 月 1 日（土）、2 日（日） 「鈴鹿の物産&ごま製品フェア」

11 月 19 日（土）～12 月 23 日（金） 「歳末市・お歳暮好適品フェア」

12 月 3 日（土）、4 日（日） 「うどん・きしめんフェア」

平成 24 年 1 月 4 日（水）～8 日（日） 「新春福袋セール」

1 月 29 日（日） 「ザ・銘菓 ～匠の技と味フェア～」朝明菓子組合

② 「開館記念 感謝フェア」の開催

平成 23 年 7 月 29 日（金）～8 月 4 日（木）

地場産品の割引セールの実施



じばさん市 手延めんフェア

③ 「名品館グランドセール '12」の開催

平成 24 年 3 月 3 日（土）～11 日（日） 2 割引セール（食品 1 割引）

3 月 3 日、4 日、10 日、11 日 特別企画「春の都まんじゅうまつり」は

4 日間で約 1,100 個を販売、「四日市名物・銘菓」であることを PR した。

④ 「確定申告会場に伴う出張販売」の開催

平成 24 年 2 月 8 日（水）～3 月 15 日（木）

確定申告来場者に対して特設コーナーを設けて、お値打ちセールを実施した。

出展者も多くなり、イベントとして定着してきた。

(3) 構成地域内での物産展等への参加（出展 1 2 回、延べ 2 0 日）

平成 23 年 4 月 2 日（土）～3 日（日） 「第 20 回エキサイト四日市バザール 2011」

会場：諏訪新道通り、沖ノ島交差点付近

4 月 15 日（金）～17 日（日） 「第 8 回四日市萬古焼新作フェア」

会場：ばんこの里会館 3 階

5 月 14 日（土）～15 日（日） 「第 50 回萬古まつり」

会場：ばんこの里会館 1 階

- 10月8日(土) 「秋の萬古まつり」
会場 商業組合前駐車場
- 10月15日(土)～16日(日) 「第38回くわな商工まつり」
会場：サンファーレ西側1階歩道
- 10月22日(土)～23日(日) 「国際ロータリー大会」
会場：四日市市文化会館
- 10月23日(日) 「2011四日市サイクル・スポーツフェスティバル」
会場：鈴鹿山麓リサーチパーク
- 11月5日(土)～6日(日) 「第19回おいん鈴鹿観光と物産展」
会場：白子サンズ1階西入口前
- 11月6日(日) 「第26回東海道関宿街道まつり」
会場：東海道関宿の街道一帯
- 11月12日(土)～13日(日) 「四日市競輪開設60周年記念
(東日本大震災被災地支援)物産展」
会場：四日市競輪場 南入口
- 11月13日(日) 「第30回東員町農業商工祭」
会場：多目的グラウンド横駐車場
- 11月20日(日) 「第1回NGP横丁 日本をちょっと元気にするプロジェクト」(商品のみ出展)
主催の中小企業家同友会へ被災地の商品を提供。
会場：諏訪商店街



くわな商工まつり (桑名サンファーレ前)



四日市競輪場開設60周年
(東日本大震災被災地支援)

(4) 地場産品交流事業

全国の地場産業振興センターと商品の交流を行い、相互のPR、販路開拓に努めている。(7センターの地場産品を展示・販売、特に今治のコットンマフラー、山梨のネクタイ、木曽の漆器は好評で順調に売上が伸びている。)

2 人材養成事業

(1) 地場産業経営支援セミナー

産地組合が抱える課題や業界の動向を踏まえ、支援策となる組合単位での講座を実施した。

四日市機械器具工業協同組合

①日 時：平成23年10月4日（火）18：00～20：00

場 所：じばさん三重5階 情報交換室2

参加数：19名

研修内容：「face Bookの活用法」

講 師：(株)バリューリソース・デザイン 取締役 金津 史和

②日 時：平成23年11月8日（火）18：00～20：00

場 所：じばさん三重5階 情報交換室2

参加数：16名

研修内容：「災害時におけるリスクマネジメントと中小企業」

講 師：三重大学人文学部法律経済学科 青木雅生

③日 時：平成23年12月7日（水）18：00～20：00

場 所：じばさん三重5階 情報交換室2

参加数：13名

研修内容：「BCP基本方針の考え方」

講 師：三重大学人文学部法律経済学科 青木雅生

(2) 夏休み小学生じばさん講座

構成地域内の小学生高学年を対象に当地域の地場産業の歴史的発展や現状などを総合的に解説し、地域産業への認識を深めることを目的に体験も含め開催した。

① 夏休み小学生じばさん講座 上級コース（5、6年生対象）

日 時：平成23年8月2日（火）、3日（水）〔2日間コース1回実施〕

場 所：当センター 6階ホール、展示室

参加数：116名（昨年99名）

実演者：萬古焼陶芸家 清水 潤氏、清水 潮氏

伊勢形紙 伝統工芸士 内田 勲氏、今坂千秋氏

体 験：四日市萬古焼の器作り（手びねり成形）

電動ろくろ体験

伊勢形紙 色紙彫刻



伊勢形紙色紙彫刻

② 夏休み小学生じばさん講座 初級コース（4年生対象）

日 時：平成23年7月29日（金）、8月1日（月）〔半日コース2回実施〕

場 所：当センター 6階 ホール、展示室

参加数：218名（29日：104名、1日：114名）

実演者：萬古焼陶芸家：荻内善晴氏他2名

伊勢形紙：木村正明氏（29日）

六谷博臣氏（1日）



体 験：四日市萬古焼絵付け、伊勢形紙しおり彫刻

萬古焼絵付け体験

3 情報収集提供事業

(1) 地場産業めぐり

構成地域内の伝統産業に関わる施設や製造企業を見学し、市民に地場産業への理解を深めていただくことを目的に実施した。

① 第1回（四日市市、菰野町）

日 時：平成23年7月14日（木）

参加数：37名

見学先：(有)四日市酪農 ー三鈴陶器ー四日市茶業センターー 水沢茶農業（協）
ー八里屋菰野工場ー菰野ふるさと館

②第2回（桑名市）

日 時：平成23年10月7日（金）

参加数：36名

見学先：サンジルス醸造(株) ー輪中の里
ー(株)小杉食品ー細川酒造(株)



細川酒造

③第3回（四日市市、鈴鹿市、亀山市）

日 時：平成23年11月17日（木）

参加数：38名

見学先：カネスエ製麺所 ー関宿ー東海醸造(株)ー鈴鹿市役所庁舎15階展望室
ー(株)宮崎本店

④第4回（四日市市、菰野町、いなべ市、）

日 時：平成24年3月14日（水）

参加数：37名

見学先：指勘建具工芸ーいなべ市農業公園ー(名)丸彦酒造
ー(有)弥生陶園・(有)藤総製陶所

(2) 各種情報図書の整備、新聞・機関誌からの情報収集

(3) インターネットによる情報提供

ホームページへ直接入力し、各種事業の周知や関連情報をリアルタイムで提供し、アクセス数の増加に努めた。

4 相談指導事業

地場産業界や中小企業者を対象に実施した各種相談等は四日市商工会議所へ斡旋した。なお、ベンチャー起業相談は三重県産業支援センターの協力のもと実施している。

II ビジネスインキュベータ事業

新たな事業の創出や新技術・新商品の開発による新事業へ挑戦しようとする企業の支援を行った。

8月末日をもって、ルーム4の(株)ユナイテッドワークスが期間満了で退出した。なお、ルーム7のMAN STUDIOについては、期間延長の申出により、審査の結果、1年間の延長とした。9月末にルーム1のアイフェイトが都合により退出した。応募があった2社について1月17日に開催した第13回インキュベートルーム入居審査委員会において、それぞれ基準を満たすと答申があり、入居を決定した。なお、ルーム2、3については、現在も空室であり、引続き募集を行っている。

ルーム1	アイフェイト Universal Sync	平成23年9月30日退出(都合により) 平成24年3月1日入居
ルーム2		空室
ルーム3		空室
ルーム4	(株)ユナイテッドワークス (株)H.R.D(Hungry. Rush. Design)	平成23年8月31日退出(期間満了) 平成24年3月1日入居
ルーム5	情報制御(株)	入居中
ルーム6	(株)環境思考	入居中
ルーム7	MAN STUDIO	入居中(24年9月まで延長)

III 施設提供事業

地域産業界及び地域住民に良質な会場を提供し、より多くの方にご利用いただけるよう努めた。なお、雇用において、求人の地域格差が問題になっている中、雇用対策の一環としての職業訓練的なセミナーが増えてきている。また、大学の入試会場としての利用も多くなっている。

昨年に引続き、2月から3月中旬にかけて、四日市税務署の「確定申告会場」として使用されたことにより、センターの認知度がアップした。

3. 公益法人制度改革

法律の施行の日から5年間の移行期間内（平成25年11月30日まで）に、当センターは、公益財団法人又は一般財団法人への移行の申請をする必要がある。

「新法人制度移行検討委員会」の意見を踏まえ、5月の理事会において、「公益財団法人」を目指すことが決定された。

3月の理事会では最初の評議員候補者（案）について承認されたほか、最初の理事・監事（案）及び定款変更（案）を報告した。

なお、認定申請書の提出は平成24年7月を予定している。

4. 施設管理

トイレ内洗面器用自動水栓（家電タイプ）取替工事

請負代金額：798,000円

工事請負者：小林設備工業株式会社 代表取締役 小林亮介

工事期間：平成23年7月8日～平成23年7月31日

完成年月日：平成23年7月27日

地中線用方向性過電流ロック形高圧ガス負荷開閉器取替工事

請負代金額：1,543,500円

工事請負者：泗水電機会社 代表取締役社長 小林秀男

工事期間：平成24年2月20日～平成24年3月28日

完成年月日：平成24年3月28日